

平成19年度(2007年度) 西南学院高等学校同窓会総会・懇親会

DO OUR BEST - 未来へ向けて -

日時:平成19年6月9日(土)
18:30 ~ (受付開始:17:30)
学年別の受付を準備しております



場所:ホテルニューオータニ博多 4階鶴の間

総会チケット:7,000円
(平成14年以降の卒業生は2,000円)
チケットについては、各学年の代表にお問合せくださるか同封の振込用紙でお振込下さい。また総会当日も受付にて販売しております。



多くの同窓生の参加をお待ちしております!
今年度の当番は、昭和62年卒です。

会報 2007 年号

(企画編集)
広報委員会

(発行日)
2007.4.30

今年度当番幹事あいさつ

今年の西南学院高等学校同窓会・総会の当番幹事を務めております昭和62年卒「西神会(セイジンカイ)」です。今こうして同窓会総会の準備を進めることができるのもキリスト教の教えのひとつである「隣人愛」が西南に根付いているからだ我々は考えます。諸先輩方や後輩諸子から頂く「愛情」ある言葉に支えられていることを実感している毎日です。それに報いたいという思いと学院創立百周年に向け、今我々に「何ができるだろう?」という思いを込めて今年の総会のテーマを「Do Our Best」未来に向けて決めました。

我々「西神会」は昨年同様多くの卒業生の方々に総会ご参加いただき、西南学院を思い出していただきたいと考えています。そして代々受け継がれている諸先輩方の熱い「思い」を後輩諸子に伝えることのできる総会にしたいと思ひます。奮ってご参加くださいます様宜しくお願い申し上げます。

平成19年度同窓会総会当番幹事
西神会代表 森島弘(昭和62年卒)

総会委員長メッセージ

毎年1,000名規模の参加者で賑やかに、そして華やかに行なわれている同窓会総会。今年は昭和62年卒「西神会」が当番幹事となり開催されます。

お世話になった恩師や同級生、先輩、後輩との久しぶりの再会はいくつになっても学生時代へとタイムスリップさせてくれ、昔の馬鹿話や家族、仕事の話、また将来の夢など有意義で楽しいひと時を過ごさせてくれます。

近年は若い卒業生の参加も増え、女性の姿も目立つようになり、男ばかりの頃とはずいぶん様変わりし、とても明るい雰囲気総会となりました。

西神会の諸君は総会にきていただいた皆様に満足していただけるよう必死に準備しております。総会が終わり、彼らに見送られながら会場を後にあるとき、きっと西南の卒業生でよかった!と感じていただけるだろうし、その瞬間に同窓会としての一体感が生まれるものと確信しております。たくさん同窓生に参加していただきますようお願いしております。

総会委員長 江副裕紀(昭和54年卒)

同窓会会長メッセージ

同窓生の皆様、春たけなわのこの時期を満喫されていますか?

高校同窓会会長をいたしております昭和39年卒業の志岐司でございます。

日頃より高校同窓会活動にご協力頂き誠にありがとうございます。

今年も高校同窓会独自の広報誌が出来上がりました。これもひとえに広報委員会をはじめ、多くの同窓生にご協力を頂いたおかげです。

昨年に続き、より充実した内容で広報誌を届けられる事を心より嬉しく思います。誠にありがとうございました。

同窓生の皆様には、3年前に立ち上げたホームページでの情報提供だけでなく、このような広報誌でも情報を発信することで西南学院高等学校同窓会を身近に感じていただければ幸いです。

最後に今年も同窓会総会へ多数のご参加を心よりお待ちしております。

同窓会会長 志岐 司(昭和39年卒)

学年横断の集い(卒業年は違っても同じ西南同窓生の輪)

緑バッチの会 「グリーン会」

会長：伊藤陽祐(昭52年卒)

皆さんは、自学年バッチの色を憶えていらっしやいますか？いつからいつまで続いたのか私も分かりませんが当時は「緑」「赤」「青」で構成され、年次ごと順に色が巡っていた訳です。同色の先輩・後輩とは在校三年間(たまに四年以上なんて例外もありますが!)に出会わない入れ違いの学年です。しかし先生方も三年周期で受け持ちが巡る事が多いので、この同色バッチは、知っている先生方がかなり共通します。それ故か否か各バッチの色にはそれぞれ特徴のようなものを感じられます。実に面白い発見

そこで我々は他の色にさきがけ、「親睦」を目的として四年前に緑襟章の集まり、通称「グリーン会」を作りました。昭和四十六(六十一)年年卒まで現在六期のグリーンバッチが集い、毎年十一月には定期懇親会を催しています。グリーンの特色か？豪快な人が多く、声もでかい、酒飲みも多く、毎年非常に「緑」的な盛り上がりを見せています。年齢は違うのに何故か近しい感じがしてなりません。こつこつとした具合に離れた年次が会い、母校に思いを寄せ、親睦を深めて行くことこそが同窓会発展の礎ではないかと考えます。



最近では他の色の集まりもあると聞きます。こつこつとさらに西南の同窓会があちらこちらで栄えることを心から祈念いたします。

同窓会ホームページもご覧ください

同窓会のホームページ(下記URL参照)では、過去の総会の様子や学年で開設されているホームページへのリンク、高校のホームページへのリンク、同窓生掲示板など西南高校同窓生として役に立つ内容が盛りだくさんです。ぜひ、一度、アクセスしてみてください。

広報委員会

夢創り応援隊 「銀風会」

会長：川崎俊雄(昭55年卒)

我々、銀風会は西南高校同窓生を中心に集まった、福岡ソフトバンクホークスを応援する会です。平成七年に平岡和也(昭四十六年卒)さんを中心に結成されました。会の名前は厳ついですが、ホークスと野球を通じて子供達の夢創りの応援もしています。子供が頑張る姿、輝く目、喜ぶ表情・・・これこそ全世界共通の輝く宝物。我々は、子供達が素晴らしい金色に輝くために、銀の風となつて吹き続けてあげたいと願います。

主な活動は、ホークス後援会主催で二千名の参加がある中学生軟式野球大会(通称：ホークス杯)の企画・運営や福岡市が中心となり、ヤフードームで開催される「親子ふれあい野球教室」の企画・運営。その他、球団が主催する野球大会開会式や野球教室のスタツフとして頑張っています。また、春の花見、年数回の団体観戦、秋のバーベキュー大会、不定期な飲み会等は家族も交えて大変盛り上がりついています。現在会員数七十六名。ホークス好きでちょっととしたボランティアに関心のある同窓生大募集です。気軽にお問い合わせください。(問合せ先)080-3966-2066(衛藤)



(銀風会総会・懇親会)



(中学生軟式野球大会)

同窓会ホームページに 広告を出しませんか!

広報委員会では、同窓生のお店、取り扱っている商品、会社などの広告掲載を計画しています。いろいろな分野で活躍している同窓生の紹介とともに、同窓会広報活動の充実のために、ぜひご検討ください。今年に掲載料無料でお試しいただけます。詳しくは、下記までご連絡ください。

メール:koukoku@swhob.net

せいなんOBのネット

同窓会ホームページ <http://www.swhob.net>

< 同窓生紹介 > (各界でご活躍中の同窓生を紹介します)



昭和 45 年日本体育大学体育学部卒業、同年 4 月西南学院高校教諭。カナン寮寮監、生徒指導部長を経て、平成 11 年高校教頭、平成 17 年中学・高校の校長に就任。現在に至る。昨年、福岡県私立学校教育功労者賞を受賞。今年は還暦である。

和佐野健吾(わさの けんご)
(西南学院中学・高校校長 昭和四〇年卒)

同窓の皆様方のご活躍を心よりお慶び申し上げます。学院校歌に詠われている「松の緑」の場所から「紺碧の波」と詠われた百道浜に校舎を移転して四年目を迎えております。残念ながら、現在の百道校舎では「松の緑、紺碧の波」を見ることはできませんが、西新の白砂青松の地で育ってこられた卒業生の良き伝統を受け継ぎ、更なる発展を目指して努力しております。

西南学院は、「西南よ、キリストに忠実なれ！」という建学の精神で表されます。教育基本法の改正によって教育内容の見直しが進められています。基本的に変えてならないものが教育にはあると思っています。

本校は、「目に見えないものを大切にすること」を自分にして欲しいと願うことを隣人に行なう」というキリストの教えを、今後も守って教育を行っていきます。

同窓生の皆様のご支援とご協力によって、本校が支えられていることを心より感謝申し上げます。



高校卒業後、西南学院大文学部、米国ペンシルバニア州立大学大学院を経て、同州ウエストチェスター大学講師、昭和 61 年西南学院大学講師、昭和 63 年助教授、平成 6 年教授。現在に至る。専門はコミュニケーション論

宮原 哲みやはら あきら
(西南学院大学文学部教授 昭和四九年卒)

「おまえ、本気や?」「当たり前たい!」... 昭和四十九年卒(天羊会)が高校同窓会総会の幹事を務めた一九九四年はこんな会話で始まった。

何が本気で、当たり前か、というと、当時物珍しかった福岡ドームで総会をやるうという内容だったのがある。

大変だった。グラウンドでは飲食できない。人は集まるのか?クイズをしたいけど、景品はどうやって集めるのか...。総会が成功に終わったときのビールは最高だった。感極まって涙する幹事もいた。

でも、最大の収穫は、同級生との熱い関係を改めて築けたことだった。四〇才にあと一步という年齢になって、新たに「オレ、おまえ」の関係を作るのは容易ではない。同窓生、同級生だからできた関係なのである。在校中、顔を合わせたことがなくても、このときできた「古くて新しい友」は今でも、そしてこれからもずっと素晴らしい友であり続けるはずである。

そんな関係を育ててくれた、西南学院高校に改めて感謝。

山方信保(やまがた のぶやす)
(㈱キャンパスサポート西南 統括営業部長)
(昭和五二年卒)

中学・高校・大学とも西南学院で学び、卒業後、西南学院大学事務職員として学院の基幹業務を経験した母校をこよなく愛する西南人です。学生課時代は、課外活動担当で学生と共に汗を流し、図書館時代は、本を読まない・勉強していない私にとつての苦難の日々であり、施設課時代は、母校の中学・高校を解体し、新校舎を建築する等々、西南学院に関わる業務に接してきました。

現在は、昨年三月に西南学院全額出資の別置営利法人「株式会社キャンパスサポート西南」の設置と同時に、同社へ出向し、統轄営業部長として、総合施設管理業務や備品什器類の購入、人材派遣業等々の事業展開を行い、今後は、卒業生の皆さんに、西南グッズ販売等を展開したいと意気込んでいます。

初めての営業職であり、新境地でのチャレンジは新しい経験ばかりでとまどいもあり、悪戦苦闘していますが、反面とてもやりがいのある仕事だと感じています。世の中が少子化や大学全入時代になっていく中で、大きな波瀾にも西南学院が揺るぐことのないようにしっかりとサポートできるスキルを磨きたいと日々奮闘しています。



昭和 49 年西南学院中学校卒業後、西南高校入学。高校時代は柔道部に所属、昭和 56 年西南学院大学経済学部卒業、卒業後は西南学院に就職。学生課、図書館、施設課を経て、昨年、株式会社キャンパスサポート西南へ出向。現在、総括営業部長。同窓会理事も務める。

昨年(平成18年)の同窓会総会懇親会の様子



開催日:平成18年6月3日(土)
会場:ホテルニューオータニ博多
「鶴の間」

昨年の同窓会総会は、1,000人を超える同窓生が集まり、高校現役生による吹奏楽や卒業生が所属する女性和太鼓演奏、バンド演奏などの企画催しを盛り込み、大いに盛り上がりました。



第2回評議員会の様子

評議員会
各学年の代表で構成される同窓会の議決機関。総会の開催内容について、当番幹事からの提案を受け、それぞれ承認していきます。当番幹事にとっては最も緊張する時でもあります。総会開催半年前から四回程度開催されています。またチケットの販売状況もこの場で確認されています。



当番幹事打ち合せの様子

当番幹事打ち合わせ
当番となるのは三十八歳のとき。仕事でも第一線で活躍している時期。忙しい合間をぬって集まり、総会の準備をします。ここで案をつくり、総会委員会に諮り、評議員会へ提出します。まさに、激動の一年であり、喜怒哀楽に満ちた思い出深き一年となります。

昨年の当番幹事メッセージ

昨年の同窓会総会・懇親会は昭和61年卒「緑栄会」が当番幹事を務めました。昨年の同窓会総会では、先生方や同窓生のみなさま方にお世話になりました。

月日が経つのは早いもので、今年度の同窓会総会まで残りわずかとなりました。今年は何のような総会になるのか、非常に楽しみにしております。昨年度の当番幹事として私達も精一杯サポートいたしますが、西神会ならではのオリジナリティあふれる総会の開催を期待しています。

西南学院高校同窓会では、卒業20年後、38歳の時に当番幹事となります。この時期は、職場の中心戦力として、あるいは良き親として忙しい方も少なくないでしょう。しかし、それを乗り越え、総会が終わった時には、必ずや同級生との絆が深まることは間違いありません。西神会の皆様のご健闘とご活躍をお祈り申し上げます。

また、同窓生のみなさま、6月9日にはぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。お待ちしております。

平成18年度総会当番幹事
「緑栄会」代表幹事 中村謙介